

教養部会講師 木村 美奈子

## 1. 研究活動

<b>【学術論文】</b>			
描画におけるリアリティとは何か 〈査読付き〉	2015. 6	心理学, 第36巻第1号, 29-39.	総ページ数: 11 本論文では、「リアリティ」をキーワードに、描画とは何か、どのような活動であるかを、名画を観る鑑賞者の立場から論考した。また、子どもの描画活動については、描画産出の発達のプロセスや、産出された絵に、子ども自身がどのようなリアリティを感じているのかを論じ、そのことと認知機能の発達との関連について考察した。
生徒にとって良い教師とはどのような教師か？ —中学・高校時代の回想をもとに—	2016. 2	名古屋芸術大学教職センター紀要 第4号, 175-207.	総ページ数: 33 教員免許取得を目指す学生に、中学・高校時代を振り返って答えさせたアンケート調査をもとに、学生らがどのような教師を良い教師、あるいは悪い教師として捉えているかを調べた。そして、中学時代と高校時代の結果を比較することで、発達の様相にも言及した。また、「教師の話で心に残ったもの」を書かせ、授業カリキュラム以外の場面で、実際に教師が生徒にどのような働きかけを行っているかを検討し、現代社会で教師に求められる能力について考察を行った。
<b>【学会発表】</b>			
幼児は人形にどのようなリアリティを感じているか？ (続) 人形は知っているか(知識保持)? そのことを教えられるか(知識伝達)?	2015. 9	日本心理学会第79回大会 発表論文集, p. 1099.	共著: 木村美奈子、加藤義信 本人は実験の計画、実施、分析、論文の執筆担当。 日本心理学会第78回大会では、三次元の外的表象である人形を対象に、映像で明らかとなった三段階の発達過程が人形の表象性理解にも当てはまるかどうかの検討を行ったところ、5-6歳の子どもでは、実在との視覚的類似性が高い球体関節人形であっても、缶に目を描いただけの簡素な人形であっても、「知識保持」を人形に付与す傾向が明らかとなった。本研究ではさらに、「知識保持」だけでなく「知識伝達」の面に焦点を当てて、子どもの認識を調べたところ、人形は実験者に知識を伝達することができると考えている子どもが過半数を超える結果となった。
<b>【講演】</b>			
「映像・メディアと子どもの発達—幼児期の認識の発達に大切なことは?—」	2015. 5	愛知保育団体連絡協議会 主催「第21回あいち保育と子育てのつどい」	現代の子どもたちは、急速に進化を遂げるタブレット端末やスマートフォンとそこに展開する映像に触れながら育っている。では、子どもの成長にこれらのメディアはどのような影響を与えるのだろうか。子どもの心の発達に何が重要かを解説しながら、メディアの有用性と害害について講演を行った。

「映像・メディアと子どもの発達—スマホ・アプリ・インターネットとどう付き合う？子どもにどう与える？」	2015. 10	江南市保護者会講演会	昨今、子どもの世界まで浸透してきている映像メディアは、子どもの心の発達に与える影響について、愛着や認知の発達に関連付けて、解説した。また、幼い子どもを持つ母親に向けて、スマホやインターネットとの付き合い方、タブレット端末の子どもへの与え方などを具体的に示唆した。
--	----------	------------	---

## 2. 教育活動（教育実践上の主な業績）

大学院授業担当 有 無

授業科目名 心理学		
◆前期 ◆後期		
工夫の概要	教材・資料等の概要	
<p>本講義では、心理学の主要なトピックスを、「世界をいろいろな見方でみる」、「自分たちが縛られているものの正体を知る」という二つのテーマにそって展開した。授業では、ビデオ、パワーポイントなど視覚的な教材を豊富に使用した。特にパワーポイントではアニメーションをできる限り利用し、飽きのこないスライド作りを心がけた。授業では、学生の集中力を高めるために、いくつかの区切りを入れコーナーをつくり、学生自身が見通しを立てられるようにした。学生は作業をしたり、心理テストを行ったり、実際に実験に参加することで、心理学を身近に感じられるようにした。さらに、学生には、毎回、授業の感想・質問を書かせ、授業の最初に必ずそれに答える時間を設けた。</p>	<p>全ての授業でパワーポイントを使用し、視覚的に飽きさせないような工夫をした。また、短いビデオ教材を豊富に使い、理解を深める助けとした。印刷資料もできるかぎり用意し、復習に使用できるようにした。</p>	
授業科目名 学習心理学		
◆前期 ◆後期		
工夫の概要	教材・資料等の概要	
<p>本科目は教職科目である。そのため発達心理学の基礎から学習に関する心理学までを扱い、教師として学校現場で働くために必要な知識を身につけさせることを目的としている。特に、実践的な力が身につくよう、教授法のテクニックばかりではなく、どのような教師が生徒をやる気にさせたり、逆に、やる気を無くさせたりするのかを、具体的な場面で考えさせるような授業展開とした。講義内で紹介する研究や実験については、できる限りビデオ教材も提示し、深い理解を促した。</p>	<p>授業では毎回、パワーポイントを使用し、学生にはパワーポイントの重要項目を記入するプリントを作り、配布した。それによって、重要項目がわかりやすくなった。配布資料も毎回豊富に用意し、理解の促進を図った。</p>	

授業科目名 教育相談	
◆前期 ◆後期	
工夫の概要	教材・資料等の概要
<p>本講義も教職科目であるので、実際に現場で役立つ知識を身につけさせることを目的として授業を行った。発達障害など、特に個別の対応が迫られる障害については、その対処法を示した。学校で起きている不登校やいじめの問題では、学生らをグループ分けし、討論させ、教師としての対応を具体的に考えさせた。また、中高校生によくある悩みを提示し、アドバイスを考えさせる課題を課した。さらに、カウンセリングの練習では、学生をカウンセラーとクライアントに分け、カウンセリングを実施させ、技術的な側面を身につけることを促した。</p>	<p>授業では毎回パワーポイントを使用し、学生には重要項目を記入させ、ポイントを明確にするように工夫した。ビデオ教材も要所所で使用し、学生の理解を促した。</p>
授業科目名 デザイン基礎演習F	
□前期 ◆後期	
工夫の概要	教材・資料等の概要
<p>本講義は、次の二点に重きを置いて展開した。一つは卒業後に使える実践的な力を身につけること、もう一つはキャリアデザインの視点から、活躍されている卒業生を取材し調べることで、卒業後のビジョンを描くこと、である。卒業生の調査では、電話でのアポイントメントの取り方、インタビューの依頼文の書き方、インタビューの仕方、礼状の書き方など、実際にやってみることで、実践的な技能を身につけられるようにした。また、グループで活動させ、コミュニケーションスキルや協同のための調整の仕方も学ぼう促した。</p>	<p>書き込み式のワークシートを使用したり、依頼状や礼状などの手本を示し、実際に作成させた。</p>

### 3. 学会等および社会における主な活動

日本発達心理学会	2002. 4～現在に至る	研究発表、論文の投稿
日本心理学会	2004. 4～現在に至る	研究発表
日本教育心理学会	2008. 12～現在に至る	研究発表
日本保育学会	2008. 1～現在に至る	研究発表
日本臨床発達心理士会	2014. 4～現在に至る	研究発表